

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを情報推進課へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話しはご遠慮ください。

情報推進課

☎(85)6586
FAX(85)1108
Eメール:pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

中央町6-11

犬のふんを
踏んづけました

先日、ゴミステーションの掃除当番だったので、片づけていたところ、犬のふんに気づかず、踏んづけてしまいました。

気がつかなかった私も悪いのですが、出勤前だったので、そのまま車に乗り、とんでもないことに。靴も車のマットも、臭いがついて消えないので、もったいなくなっただけで捨てました。また、別の日には、洗車したばかりの車のボンネットに猫が上がつて、足跡だらけでした。犬のふんといい、猫の足跡といい、これって、じつと我慢するしかないのでしょうか。(桜木町 女性)

花の講習会を身近な
所で開催して

市でも、花に関する色々な講習会を開いています。素晴らしいことだと思えます。

最近、テレビや雑誌などでも紹介されていますが、園芸療法が健康回復にとっても効果があると聞いています。

福祉施設や病院、公共的な場所

園芸療法に取り組むことで、人びとの気持ちが増えると思います。高齢者が増える現在、色々な意味で、緑と花は必要だと思えます。

バスの利用が、便利な場所、講習会を開催していただくよう希望します。(花が大好きな65歳の主婦)

【お答えします】

市は、緑化推進を図ることを目的に『みどりの講演会・講習会』を、クリンクルセンター市民ギャラリーを会場に開催してきましたが、ご要望がありましたので、今後は、市民のみなさんが参加しやすい場所で開催してまいります。(建設部都市計画課)

花と緑がいっぱいのまちを
わたしの
ガーデニング



植え付け前の準備を忘れていませんか

田中ミネ子さん
若草町1丁目13-3

「2月下旬からビオラや初雪草、朝顔などの花苗を出窓で育てているんですよ。植え付けが楽しみ」と笑顔で話す田中さんは、毎年5月初旬から花苗を植えを始めます。

「花苗を植える3週間ほど前に、庭の土に石灰をまき、土を軟らかく耕しています。注意が必要なのは、石灰をまいたあと、すぐに花苗を植えないこと。石灰が土に十分になじむまで、間を置かないと、苗が傷んでしまいますよ」。

また、田中さんは、堆肥として生ごみをコンポスターで熟成させたものを使っています。

「堆肥は、十分に発酵し、酸っぱい匂いが消え、土のようになってから、与えています」。

昨年は、玄関のアプローチを花で飾った田中さん。今年は、花の色に一工夫を考えています。



あすなろ

清水貞士さん(24歳)

(株)デンコードー登別店

お客様に信頼され、名前を覚えてもらえるように頑張ります

